

ぽっぷ

第54号

ぽっぷ…
popular (広くみんなに知られている)、
pop one's mind (ふと思い浮かぶ)…
少しでも多くの皆さんに知ってもらいたい
という願いを込めて名づけました。

令和4年1月15日発行

編集・発行

天童市男女共同参画社会推進委員会

事務局：天童市総務部市長公室

TEL：023-654-1111 内線324

中高生のための

天童市男女共同参画を進める 「市民の集い」を開催します

令和4年2月20日(日) 12:00～ 天童市立中部公民館

男女共同参画社会の実現に向けた理解を深めるため、今年は中高生を対象とした
「市民の集い」を開催します。入場は無料です。皆さんの参加をお待ちしています。

13:00～15:00 2F集会室 山形大学「女子中高生理系進路選択支援事業」

女子中高生のためのサイエンス・カフェ

実験してみよう！

「タンパク質の働きを見てみよう！

～切る！キウイの酵素とタンパク質分解～」

女性研究者を囲んで話をしてみよう！



対 象

女子中高生

グループや親子での参加、保護者の方のみの参加も大歓迎です！

講 師

野村真未 氏

女性大学院生の皆さん

山形大学理学部 助教

山形大学理工学研究科

15:00～16:00 1F会議室

「お互いを尊重する関係を築くために」

デートDV防止講座

対 象

高校生 グループでの参加もOK

講 師

齋藤由美子 氏

東北文教大学短期大学部 特任准教授

市民の集い プログラム

12:00~16:00 「私たちは特別じゃない!」LGBTQ+を周知する写真展

12:30~12:45 天童市男女共同参画を進めるための標語表彰式

13:00~15:00 女子中高生のためのサイエンス・カフェ ~女性の研究者と話してみよう!~

15:00~16:00 「お互いを尊重する関係を築くために」デートDV防止講座

12:00~16:00 1F会議室 (自由見学) しんじょう・レインボープロジェクト

「私たちは特別じゃない!」

LGBTQ+を周知する写真展



しんじょうの高校生
から世界へ愛を叫ぶ!!

LGBTQ+は
特別ではない!

そのことを
まわりの同年代から
広めていきたい!

みんなでHAPPYな
人生を歩むために

しんじょうレインボープロジェクトは、新庄市の高校生を中心に「LGBTQ+」(性的少数派)の周知活動をしているグループです。「多様性を認め合い、性的少数者をさりげなく受け入れてくれるような地域になってほしい」という願いから、さまざまな活動を行っています。

今回は、高校生をモデルに、なにげない日常を写真に切り取りつつ、性的マイノリティに思いを寄せるパネル展を開催します。



「サイエンス・カフェ」と「デートDV防止講座」は事前に申込みください。

申込み方法

氏名、学校名、学年、電話番号、メールアドレス、住所を明記の上、メールまたは電話でお申込みください。

申込み/問合せ

天童市総務部市長公室まちづくり推進係
メール machi@city.tendo.yamagata.jp
TEL 023-654-1111 (内線324)

※会場にお越しの際には、
検温とマスク着用にご協
力ください

申込締切

2月10日(木)



天童市ホームページ

令和3年度男女共同参画共同参画 タウンミーティングを開催しました



天童南部地区

令和3年10月17日(水) 午後7時から

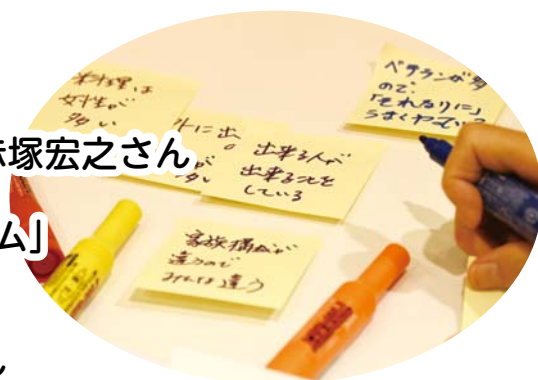
第一部▶「おいしいコーヒーの淹れ方」

講師▶株式会社東北萬国社
コーヒーインストラクター 赤塚宏之さん

第二部▶「家族でおいしいコーヒータイム」

講師▶山形県男女共同参画推進員
石澤多貴子さん 石澤治雄さん

会場▶市立天童南部公民館 参加人数▶41人



第一部は「おいしいコーヒーの淹れ方」をテーマに、適切なお湯の温度や豆の量など、コーヒーを入れる際のポイントを学びました。グループごとに異なる種類のコーヒーを入れて、風味の違いを楽しみました。

和やかな雰囲気の中行われた第二部では、参加者一人一人が家庭内での家事分担を振り返り、気付いたことをグループごとに話し合いました。その後「家族でおいしいコーヒータイム」を持つためにできることについて意見を出し合い、家庭内の小さなことの積み重ねが男女共同参画社会の推進につながることを確認しました。

参加者の声

- 男性・女性の役割について新たに考える時間がとることができて、とても良かった。
- コーヒーを飲みながら、初対面の方とも和やかに進められることができた。
- 参加型のタウンミーティングで、皆さんのいろいろな意見を聞くことができて面白かった。
- コーヒーにはいろいろな種類あることを知ることができた。今更ながら夫のやさしさに気づいた。



山口地区

令和3年11月17日(水) 午後7時から

第一部▶公演「替わり目」「厩火事」

講師▶山形落語愛好協会
笑風亭間助さん、楽笑亭明世さん

第二部▶「落語にみる男と女」

講師▶山形県男女共同参画推進員
有川富二子さん

会場▶市立山口公民館

参加人数▶26名



第一部は山形落語愛好協会さんから古典落語の「替わり目(かわりめ)」と「厩火事(うまやかじ)」の公演をいただきました。いずれも庶民の夫婦を描く落語で、男女の掛け合いが面白く、不器用な亭主の女房に対する感謝と愛情や、今も変わらない夫婦の関係性が感じられました。

第二部では、それぞれの噺に登場する亭主と女房が苦労している点や感謝している点を出し合っ、夫婦がより良い関係になるにはどうしたら良いか話し合いました。家庭や地域での仕事や役割は「男だから、女だから当たり前」ではなく、お互いに思いやりの心や感謝の気持ちを持つことが大事という意見が多く交わされました。

参加者の声

- 落語を聞くのが初めてで、笑いがあり楽しく男女共同参画について考えることができた。
- 落語で男女共同参画を学べる面白い企画だった。とても考えさせられた。
- ほかにも夫婦のやりとりが出てくる落語を聞いてみたい。
- 男女がお互いに思いやりを持つことが大切だと思った。家庭での家事など当たり前に行っていることでも、感謝の気持ちを言葉にして伝えることが大事。
- 落語の世界では、根底に男尊女卑の考えがあるように感じられた。互いに尊重しあい、感謝を忘れずに行動することが大切だと感じた。